

村上市上下水道事業審議会 議事録（要約版）

会議名	第3期 第3回村上市上下水道事業審議会
年月日	令和5年10月30日（月） 14:30～17:15
会場	村上市役所神林支所 3階 大会議室
出席委員	大串葉子、加藤明、梅田久子、遠藤誠作、酒井航、瀬賀秀雄、山貝有紀子【委員7名】
欠席委員	鷺見英司【委員1名】
事務局	<p>上下水道課 課長 稲垣秀和</p> <p>経営企画室 室長 林奈美、副参事 本間かおり</p> <p>副参事 石井美勝、主査 小松直人</p> <p>主事 大嶋上総、主事 小野夏音</p> <p>業務室 室長 東敏之、副参事 大矢純</p> <p>工事管理室 室長 渡邊貴志、副参事 伊與部貞幸</p> <p>係長 松田政和</p> <p>【事務局12人】</p>
傍聴者	1名
次第	<p>1 開会</p> <p>2 講演 「村上市下水道事業の財政構造と持続可能性」</p> <p>3 挨拶</p> <p>4 議事 (1) 村上市上下水道事業の経営事業について ① 村上市水道事業の現状 ② 村上市下水道事業の現状 (2) 村上市上下水道事業経営戦略について</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>
事務局	<p>1 開会</p> <p>〈本日の審議会の成立について〉</p> <p>委員総数8名のところ、7名の出席により村上市上下水道事業審議会条例第6条第2項の規定に基づき、本日の会議は成立することを報告する。</p> <p>2 講演</p> <p>「村上市下水道事業の財政構造と持続可能性」</p>

講師 北海道大学大学院公共政策学研究センター研究員 遠藤 誠作氏

3 挨拶

<市長あいさつ>

4 議事

事務局

(1) 村上市上下水道事業の経営状況について

<「村上市水道事業の現状」説明…資料1-1・1-2>

<「村上市下水道事業の現状」説明…資料2>

(2) 村上市上下水道事業経営戦略について 説明…資料3

会 長

市民の皆様も、委員として参加されておりますので、今回値上げ必須という方向性で議論が進んでおりますが、皆様からご意見いただければと。

委 員

料金の改定幅のシミュレーションで3,170円を4,065円というパターンが示されているが、個別排水処理についてはいくらで負担されるのか。

事務局

下水道事業について4事業あるが、すべて統一した金額を見込んでいる。事業別に料金を増減することは検討していない。

委 員

料金改定や施設の統廃合について、区長さんの方から集落へ伝えてもらえば、ある程度スムーズにいくのではないかと。同時に審議会委員だけでなく、議員の先生方にも話を聞いてもらえれば、村上市が抱えている問題に結びついていくと思う。

委 員

村上市に住んでから、村上市の水道水がすごく美味しいのですが、それはなぜなのか。井戸水だからか。

事務局

村上市はほとんどが井戸水です。

会 長

住民として料金を上げるということはどう思うか。

委 員

料金は上げて構わないと思う。

委 員

私たちが審議している課題について、市民へ理解を求めるための方法として、市報があるが、いつも同じパターンの紙面で何も危機感が伝わってこない。これだけ経費

	<p>がかかっているというのが私たちには伝わりにくい表現になっているのでグラフ化や図表化をして、上下水道の現在のあり方を視覚に訴えていくべき。水は命を守るものとして、電話代や電気代と比べると価格が安いのは確か。比較をしながら市の経営状況を示して、大事な生活に関わることの意識づけをしてもらい、将来、若い人たちがここに住み続けてもらうために理解を求めれば、市民の皆さんも分かってくれると思う。そのためにも、もう少し工夫をして情報公開をしてもらいたい。</p>
<p>委員</p>	<p>村上市の場合、根本的なことから考えることが重要。料金を上げるには、ちゃんと市民に理解してもらえば、納得すると思う。やり方次第では活力が出る場合もある。</p> <p>私は過酷な値上げや他では真似できないような値上げをしてきて前から感じるのは、全員賛成で認めてもらった以上は逆に上げた責任は重い、その分今でも安定しているのをみると、やはり公営企業はそうあるべき。村上市でも地域の力で頑張っていたきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>市民の方にきちんと説明をすることが、今後進めていくうえで大きなポイントとなる。そもそもの話として、どうしてここまでお金がかかるのか、使用料水準が低く、企業債残高がこんなに高いので、今こういう現状になっているということを、まず理解してもらう必要がある。その中でも、一つは老朽化の問題がある。老朽化して古い施設を使っていると施設効率が悪いということに繋がる。そもそもの視点からお伝えする姿勢が必要。専門的な部分でみると、汚水処理原価が高いので少しでも下げる努力をしても、それでも現状は使用料水準が低いというふうに一連の形で示すと良い。</p>
<p>会長</p>	<p>今まで設備投資がオーバースペックになってきたところをすこし削り、値上げによって支出に見合った収入を考えた投資計画するためにも、現状はこうだと市民と議論したい。</p> <p>私たちの町の上下水道はどうあるべきか、例えば必要以上に綺麗な水ではなくて、許容範囲内での処理に済ませる代わりに投資が、ひいては料金が非常に安くなる可能性もある。皆さんと情報共有をしたうえで料金の値上げでどこまで補ってもらうのかを議論する必要がある。もし資本費まで補おうすると3倍を超える使用料となってしまう。そこまでの急速な値上げは難しいとしても、サステナブルに持っていくことを考えると、市民の人がたくさん住んでいる間に、皆さんに負担していただけるほうが未来への市民への贈り物になる。確かな収支計画を元に、現在は一般会計から30億円も繰り出されているものが投資減と料金の値上げで賄えるようになれば、市民の皆さんの生活を豊かにする多面的な街づくりが可能になるということ、市を巻き込んで提案できればいいと思う。</p> <p>今、上下水道の料金値上げについて全国的にかなり話題になっているので村上市で</p>

も、賢明な村上市民の皆様と一緒にどういう料金のあり方が望ましいのかについて、世論づくりから始めたい。

5 その他

<事務局から委員の報酬及び旅費について説明>

6 閉会